

(4) 主要果実の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場
(電話) 232-8122

【概要】

国内果実は原料などの資材高騰の中、円安による物価高もあり遠隔地の輸送事情の問題も大きく入荷量が年々減少傾向にあります。春先の低温、夏場には連日の高温で生育に影響を受けた品目もある一方で気温が高く生育状況が順調で前進気味の出荷となっています。輸入果実についても円安等の影響を大きく受けて価格は前年より全体的に高くなっている状況です。入荷はバナナ、キウイについては順調な入荷が見込まれますが、オレンジなどの柑橘類がやや不足気味で高値が予想されています。

【品目別】

ミカン	熊本産は高温の影響などもありやや小玉で前倒し傾向、年末は早い切り上がりになる見込みです。長崎産は生育が良く年明けまで順調な入荷が予想されますが、価格は前年並みで推移する予想です。和歌山産は前倒し傾向の出荷で早い切り上がりになる見込みで価格は前年並み、愛媛産は前年並みの入荷見込みで価格については前年よりやや高めになります。静岡産は青島が12月中旬から出荷開始、前年よりやや多い入荷が予想されます。
リンゴ	青森産は数量3割減が予想されます。価格は前年より大幅な高値になる見込みです。岩手産は春先の晩霜や夏場の連日の高温により半作近い入荷になる見込みです。価格も前年より大幅な高値になると予想しています
柿	奈良産の冷蔵物品種「富有柿」が12月中旬ごろからスタートする見込みで前年の半分の入荷となり、価格も前年より高値で推移するでしょう。干し柿は新潟産が前年より高値で12月10日に早い切り上がりで終了する見込みです。宮城産は年末年始の入荷はありますが前年より高値が予想されます。福島産は年末年始の入荷はありますが全体的な数量は減少します。
バナナ	フィリピン産中心の入荷です。レギュラー系やハイランド系（高糖度）共に順調な入荷が見込まれます。価格は前年よりやや高めの予想となっています。
イチゴ	宮城産はクリスマス前に入荷は前年より多い入荷が予想されますが、サイズにより高値が予想されます。12月下旬から年明けにかけては入荷が増えると見込んでいます。栃木産は品種に問題があり年内は少ない入荷が予想されます。
温室メロン	熊本産は前倒しの出荷で12月上旬まで多い入荷も中旬以降は少なくなる見込みです。高知産は12月中旬までは入荷順調も下旬にかけて数量減少する見込みです。主力の品種はアールスメロンです。